



新見市男女共同参画情報紙

りぼん

vol.35
2023.2

#シン・男女共同 参画物語



～どうする にーみん～

今回のりぼんでは、皆さんおなじみの童話「シンデレラ」「赤ずきん」、平安時代に書かれたお話「とりかへばや物語」をモチーフにした物語を通して、男女共同参画に関するいろいろなテーマについて考えてみたいと思います。



#シン・シンデレラ

テーマその① 家庭内暴力(DV・虐待)

おかしおかし、とても美しく心の優しい貴族の娘がいました。

母親を早くに亡くした娘は、父親が再婚した継母や、二人の義理の姉に意地悪をされていました。父親が亡くなると、意地悪はひどくなる一方で、ドレスを捨てられてボロ着しか許されず、屋根裏部屋に追い出され、家事をさせられて、まるで召し使いのように扱われていました。暖炉の掃除をして灰まみれになった娘に、継母たちは「シンデレラ」とあだ名をつけました。



どうするにーみん

シンデレラは、継母たちから家庭内暴力を受けているね。家庭内暴力は、DV(ドメスティックバイオレンス)とも呼ばれて、主に夫婦の間で振るわれる暴力のことを言つよ。



意地悪されるだけで、暴力はふるわれていないけれど、それも「暴力」になるの？



なぐったり蹴ったりだ
けじゃなく、大声でどなる・大切なものを捨てる「精神的暴力」や、洋服など必要な物を買わせない「経済的暴力」も、立派な暴力だよ。それから、子供を家に閉じ込める・学校に登校させないのも、「ネグレクト」といつて虐待になるんだ。
どんな暴力も虐待も、絶対に許してはいけないね。

テーマその② ワーク・ライフ・バランス、家事分担

シンデレラは、掃除や炊事、洗濯など、家の全ての家事をおしつけられました。朝から晩まで働いても、次から次へと継母たちから家事や雑用をおしつけられていました。



どうするにーみん



家事や雑用だけで一日が終わって、全然休む暇もないの。



長時間労働は、ワーク・ライフ・バランスを崩す原因になるよ。



ワーク・ライフ・バランスって何？



働くすべての人が、仕事(ワーク)と、育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動(ライフ)の両方を充実させる働き方や生き方のことだよ。



お掃除したり食事を作ったり、洗濯物を洗ってほしたり、しなければいけない家事が多くて、自分の時間なんてとれないわ。



一緒に暮らす家族みんな、助け合って家事の分担をしていこう。公的サービスや民間サービスを利用することで負担を軽減するという方法もあるよ。

それに最近は、企業などでも働き方改革が進んでいるんだ。仕事の見直しをして時間外労働を減らしたり、時短勤務などの多様な働き方を取り入れたりしているよ。

#シン・赤ずきん

テーマその③ デートDV



るんるんるん。赤ずきんちゃんは今日、彼氏のおおかみくんとデートです。

けれど、電車が遅れて約束の時間に間に合いませんでした。

おおかみくんは機嫌が悪くなり、「ごめんね」といくら謝っても無視されてしまいました。その後、「誰か他の人と一緒に居たんだろう。その人の方が好きなんだろう」と決めつけ、「俺以外の男と連絡を取るな!」と大きな声を出しました。赤ずきんちゃんにスマホを出させてトーク履歴をチェックしたり、男性の名前の連絡先を削除したり、位置情報が共有できるアプリを勝手にインストールしたりし始めました。

今までは優しかったのに…。

どうするにーみん



赤ずきんちゃんの今の気持ちはどうなの？



彼のことが好きなんだけど、なんだか苦しい、こわい。彼は私のことを愛しているからそんなことをするんだと言っの。我慢しないといけないのかなあ。



そんなことないよ。本当に好きな相手なら、苦しませたりこわがらせたりしないよ。位置情報が共有できるアプリも、防犯などの役に立つけれど、いきすぎるとプライバシーがなくなってしまうし、彼は赤ずきんちゃんを自分の思い通りにしようとしているね。



じゃあ、愛されていないの？



相手を縛り付けることは、愛情ではなくてDVだよ。からだへの暴力もけじゃなくて、こころへの暴力もデートDVになるんだ。

ふたりの関係は、お互いが安心できる関係でないといけないと思うよ。

自分を大事にするためにも、まずは誰かに相談して、彼との関係を見つめなしてみたらどうかなあ。



DVを受けたら、どこに相談したらいいの？



新見公民館にある「男女共同参画プラザ」で、DVなどの相談を受け付けているよ。友だちの様子が不自然に感じたら、友だちが相談に乗ってあげることも大事だね。



相談窓口はたくさんあるよ

家庭内暴力やデートDVの相談は…

新見市男女共同参画プラザ

☎06159

岡山県女性相談所

☎086-2335-6060

DV夜間電話相談

☎086-2335-6101

受付時間などは、各相談窓口のHPなどを確認してね!

子どもの虐待やワーク・ライフ・バランスなど、その他の内容も、いろいろな相談先があるよ。電話やSNSなどいろいろな方法で相談できるから、インターネットで希望の窓口を確認して話してみてね!

#シン・とりかへばや物語

テーマその④ ジェンダーバイアス

おかしおかしある貴族のもとに、男の子と女の子のきょうだいがいきました。男の子は内気で恥ずかしがり屋で、外へ行くよりお人形遊びなどが大好き。女の子は活発でいたずら好きで、外で元気いっぱい駆け回って遊ぶのが大好きです。でも、いつも周りの人から「男らしく外で遊びなさい」「女らしく家でお手伝いをしていなさい」と、怒られていました。



どうするにーみん



男らしく、女らしくってなんだろう？



男性はこうあるべき、女性はこのあるべきと決めつけるのはよくないね。



本当は赤や桃色が好きなのに、男の子は青色にしないといつても言われるんだ。



剣術や馬術を習いたいの、女の子だからダメって言われるのがイヤ！



男女の役割についての決めつけや偏見を「ジェンダーバイアス」っていうんだよ。普段自分が何気なく使っている言葉を見つめなおして、無意識のジェンダーバイアスにも気を付けていきたいね。

テーマその⑤ 自分らしさ

二人は立場をとりかえて、男の子は姫君として、女の子は若君として過ごすことにしました。男の子はずっと着たいと思っていた赤い着物を着てお人形遊びをして、女の子は剣術や馬術の稽古をして、毎日楽しく暮らしています。そのまま二人は、男らしくや女らしくにとらわれずに、ありのままの自分として生きていきました。

どうするにーみん



わたしは今のわたしのままでいたいな。



好きなものは好きって言うて、やりたいことをやりたい！



思い込みに縛られない「自分らしさ」を、みんなで大事にしていきたいね。

【問い合わせ先】

新見市男女共同参画情報紙編集委員会事務局（総合政策課内）
☎ 06143

編集後記

編集委員 谷岡奈央

今回のりぼんでは、昔話を通して複数のテーマについて取り上げました。

今回の編集会議の中で自分がいつも考えていたことは、「私たちは、男、女という前に、一人の人間であること」「男らしく、女らしくという前に、自分らしく生きること」そして、「もし生きづらいと思っている人がいれば、それを皆で改善していくこと」です。

近年、多様化という言葉をよく耳にします。しかし、もともと私たちは多様だし、多様であるべきなのです。

男女共同参画が当然のこととなり、「男女共同参画」という言葉自体が意識されない世の中になると良いと願います。

また、近年は先行き不透明な時代と言われ不安を煽られています。皆が多様性を認める世の中になれば、まだまだ世の中はきっと良くなるはずですよ。

私たち編集委員がりぼんを出させていただく意義は、まさにりぼんのように様々な色を互いが認め、皆のハートを結びつけていくことのお手伝いかな、と考えています。

皆さんの心を少しでもほっこりできる情報紙になれば良いなと願っています。